

言葉のユニバーサルデザイン・やさしい日本語 教職員アンケート

1. 目的

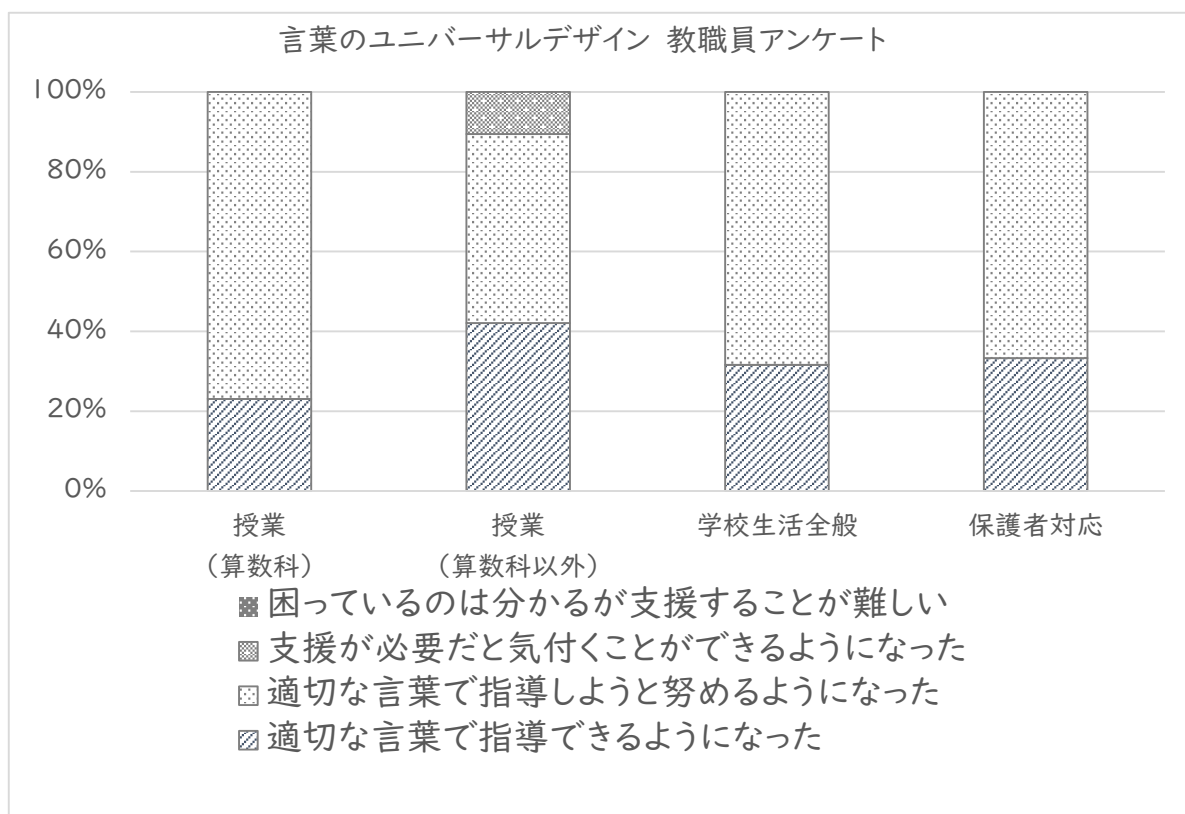
研究テーマ「生きた言葉を使い、考える力を伸ばす算数科の授業づくりにおける日本語指導の在り方」に向け、以下の2点の取り組みについて、自身の達成度を振り返ることで、次年度への課題を明確にする。

(1) 算数科の学習に焦点をしばり、児童がつまづきやすい学習言語を検討したり、単元のはじめに語彙についての指導を取り入れたりして学習言語の指導・支援を工夫する。

(2) 保護者連絡や児童への声かけをする際には、ゆっくり話すなど、話し方を工夫したり、誰にとっても理解し易い「やさしい日本語」を使う「言葉のユニバーサルデザイン」を意識して接していく。

2. アンケート内容(対象者)

- ①算数科で困難さが予想される言葉を押さえた授業ができた。(算数科授業に関わる教職員)
- ②算数科以外の教科学習で、困難さが予想される言葉を押さえた授業ができた。(授業に関わる教職員)
- ③休み時間、そうじ時間など、学校生活全般で児童に指導する際、言葉のユニバーサルデザインを心がけることができた。(児童に関わる機会のある教職員)
- ④保護者との関わりや家庭連絡の際、言葉のユニバーサルデザインを意識して接することができた。(保護者対応の機会がある教職員)



⑤児童や保護者と関わるなかで、言葉の面で印象的だった事例
(つまりくとは思わなかった語彙、指示したことが伝わらなかった場面など)

【学習場面】

- ・どちらが、どれだけ、どのように、どれ、などのような問われる時に使われる言葉を正しく理解できていない。
 - ・さかのぼるや～ずつ、ともなってという言葉が理解できなかった。
 - ・広い、多い、大きいの使い分けができていない。
- たし算、引き算、かけ算、わり算と和差積商が一致せず、イメージしにくかった。
- ・社会見学の時に使う「しおり」が伝わらなかった。本にはさむ「しおり」と間違えていた。
 - ・道徳や総合の授業で、友達の発表を聞く場面で、何を言っているのか理解することが難しかった。
 - ・「六つ」と「六つ目」の違いが分からなかった。
 - ・ます(水のかさの学習)やまきじゃく(長さの学習)など物の名前が分からなかった。

【学校生活】

- ・日本語のレベルが違う複数人で話す場合、対応するのが難しかった。
- ・様々な国の児童たちが関わるときに、日本語のレベルの違いによって、思いの受け取りにずれが生じ、自分の本意ではない状況になってトラブルに発展することが多々あった。

【保護者に対して】

- ・学校から伝えたいことが電話ではなかなか伝わらなかった。
- ・二者懇談で言葉が伝わらない時、タブレットの翻訳機能を使って話したが、時間がかかり伝えにくかった。
- ・日本語が理解できると思っていた保護者でも、こちらが一番伝えたいことを理解できていなかったということが何度もあった。
- ・「～が苦手だけど ～は頑張っている」という言い方をすると、前半部分が全く入らなかったことがよくあった。

⑥日頃、児童や保護者と関わるなかで、言葉の面での実践例
(こんなふうに言い換えると伝わった、電話連絡の際に気を付けていることなど)

【児童に対して】

- ・一文を短くする。
- ・伝わりにくい内容については、タブレットの翻訳機能を使って理解させ、児童がプリントに自分の考えを書きやすいようにしている。
- ・難しいものは、写真を見せてイメージさせるようにしている。
- ・朝のメッセージカードと一緒に読み、言葉の意味を言い換えて伝えたり、ゼスチャーを使って伝えたりして確認をしている。
- ・8日(ようか)と言った後、イメージができるようにあえて「はちにち」と言い換えている。
- ・聞いてイメージがしやすいような別の言葉に言い直して伝えるようにした。
- ・同じ母語が話せる他の児童に通訳を頼んだり、ジェスチャーをしたりして伝えるようにした。
- ・児童に少しでもイメージができるように身振り手振りなど、非言語による支援も積極的に心掛けている。

【保護者に対して】

- ・「～は～です。」のように余計な修飾語を使わず、文をシンプルにするようにしている。
 - ・短く結論だけを言うようにした。ぶっきらぼうで失礼かと思ったり、保護者が憤慨したりするかと思ったり、結果、こちらの思いは伝わった。
 - ・相手の心情に寄り添うために細かい状況やその時の情景を伝えることよりも、結論だけを伝えた方が保護者の理解も得られた。
- 礼儀を欠かない範囲で、簡単な言葉に直して伝えるように心がけている。
- ・直接物を見せながら会って話すと効果的だった。
 - ・電話連絡をする時には、ゆっくり、はっきり、短く伝えるようにしている。
 - ・伝えたいことは遠回しに言ったり、オブラートに包むように言ったりすることなく、はっきりと意図を伝えるようにした。
 - ・中国語ではない言語を母語としている保護者についても、できるだけこちらの伝えたいことが理解できるような文を翻訳機を使って調べ、プリントに添えるようにしている。
 - ・生徒指導の保護者対応の時に、事実を説明する際、伝わりにくいことがあったため、絵や図を書いて説明することでこちらの言いたいことが伝わった。